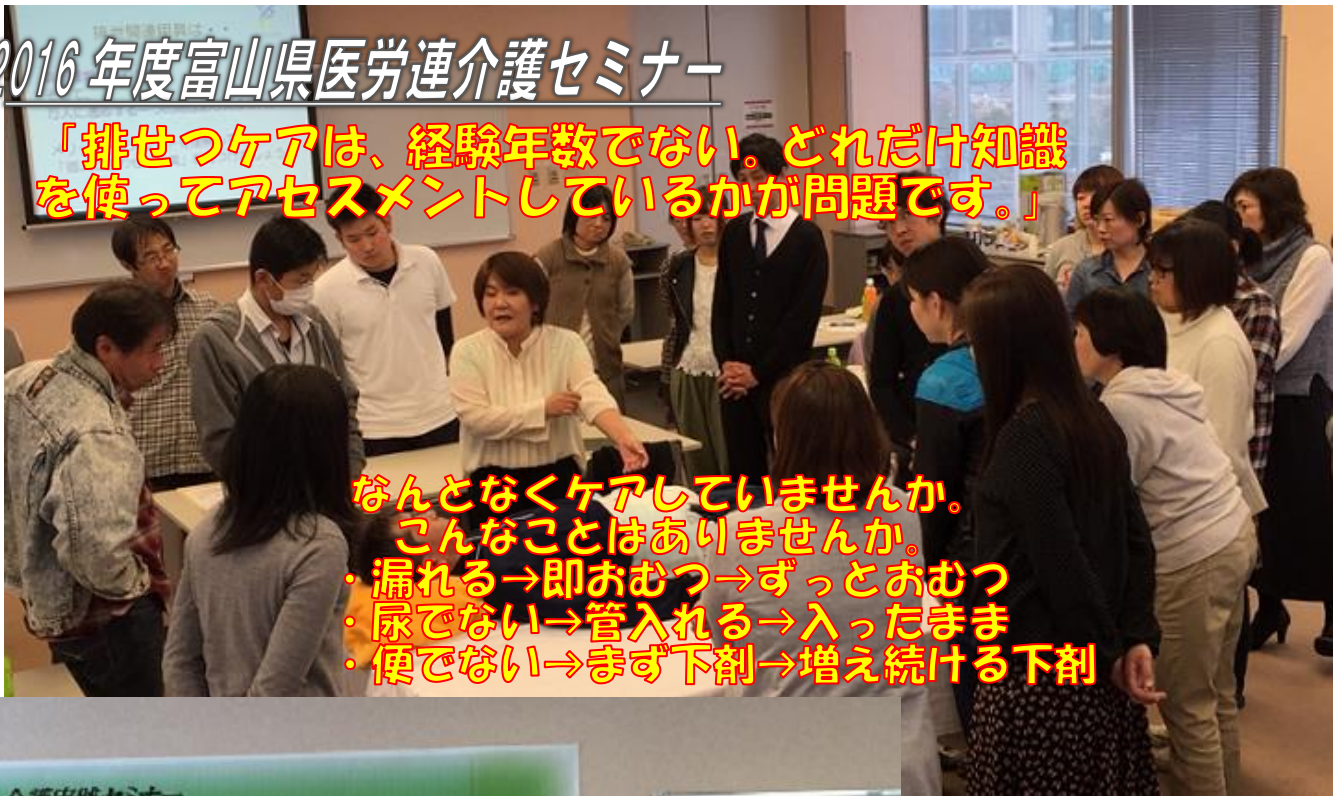


2016年度富山県医労連介護セミナー

「排せつケアは、経験年数でない。どれだけ知識を使ってアセスメントしているかが問題です。」



**なんとなくケアしていませんか。
こんなことはありませんか。**

- ・漏れる→即おむつ→ずっとおむつ
- ・尿でない→管入れる→入ったまま
- ・便でない→まず下剤→増え続ける下剤



2016 介護実践セミナー
アセスメント・変える・幸せ・排せつケアとは...
「処理」から
「人間の尊厳を守るケア」へ
●記念講演 牧野美奈子さん
2016年11月3日 主催:富山県医労連

多職種27人集う



11月3日、富山県医労連は、日本コンチネンス協会認定アドバイザーの牧野美奈子さんをお呼びびして、人間の尊厳を守る排せつケアについての知識や技術を学ぶ企画を開催しました

アセスメントで変わる
幸せな排せつケアとは

介護
セミナー

当日は、介護職員15人の他、看護師(訪問・病棟・外来・デイ)7人・リハビリ職員(OT・PT・ST)3人を含む27人が参加しました。

『処理』から『人間の尊厳を守るケア』へ

牧野美奈子さんは、「施設や病院では、残念ながら排せつケアは処理作業として行われることが多い、なんとなくケアが継続されている現状が多い。アセスメントする事により、もつと一人一人に適したケアを行っていく」と語られ、アセスメントに必要な解剖学的知識、失禁の種類と対応、おむつの扱い方などをわかりやすく講演されました。

「オムツ交換はアートですの言葉に共感」

学習会参加者からは、「オムツ交換はアートです」の言葉に共感「排せつについての問題の解決につながるヒントを聞くことができた」「オムツのあて方が今までと違う方法で勉強になった」「初心に帰る事ができた」「目からうろこ」「職場で広げていきたい」等の感想が出されました。学習会の後には、各職場交流会も開かれ参加者から、活発な意見が飛び交いました。今度は、「便」に絞ってやってほしい等次回セミナーの要望も出されました。

本セミナーの資料を希望される方は富山県医労連迄ご連絡下さい